カリ	リキュラム区分	<del>ं</del>	3カリ	3	シラバス区分	大学院							
į	科目区分	科目コード	履修時期	開講専攻	選択区分	科目名(上段:和名、下段:英名)	時間	単位					
			学年	期									
1	専門分野	M306	1年 前	期 医療技術科学	選択	Advanced study on Molecular Cell Biology	30	2					
					担当教員								
松村	美紀												
				関連するDF	 Pキーワード(看	護学専攻)							
	① 看護に関っ	する理論学習を	・通して経験	を意味づける力を身		~							
	② 人々の健康	表に関連する諸	・ 現象を分析	・し構造化する力を身	·につけている。								
	③ 論理的に原	思考し他者にお	かりやすく	説明する力を身につ	けている。								
	<ul><li>④ 看護実践。</li></ul>	り場においてリ	ーダーまた	は管理者、教育者と	して個人や集団	を動かす力を身につけている。							
	⑤ 看護実践の	の質の向上に向	]けて問題意	識を持ち、科学的に		法と態度を身につけている。							
	⑥ 保健医療分	分野に関して広	い見識を身	·につけている。									
				関連するDPキ	ーワード(医療技	支術科学専攻)							
0	① 臨床検査学	について自ら	深く学習す	る力を身につけている	5.								
0	② ヒトの体の	仕組みや機能	を科学的に	説明する力を身につり	けている。								
0	③ 健康・病気	について論理	的に思考し	地者に分かりやすく訓	说明する力を身に	つけている。							
	④ 臨床検査実	践の場におい	てリーダー	ーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。									
	⑤ 臨床検査実	異践の質の向上	に向けて問	題意識を持ち、科学的	内に追求していく	方法・技術を身につけている。							
	⑥ 保健医療分	↑野に関して広	い見識を身	こつけている。									
					授業目的								
						ィクス制御について理解する。 た「液ー液相分離」の概念を知り、この概念が持ち		_ , _					
			, , , ,		1000,1-0,2		込まれた	ことで					
刷新さ	れてきた分子	生物学、生化学	4、細胞生物	学の新しい見方、考	え方を理解する。		込まれた	ことで					
刷新さ	れてきた分子	生物学、生化学	生、細胞生物	学の新しい見方、考	え方を理解する。		込まれた	ことで					
刷新さ	れてきた分子	生物学、生化学	<sup>4</sup> 、細胞生物	学の新しい見方、考	え方を理解する。		込まれた	ことで					
刷新さ	れてきた分子:	生物学、生化学	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	学の新しい見方、考	え方を理解する。		込まれた	ことで					
刷新さ	れてきた分子:	生物学、生化学	4、細胞生物		え方を理解する。		込まれた	<u>ことで</u>					
<ol> <li>真核</li> </ol>	亥細胞のゲノム	の構造と機能に	こついて理が	到; <sup>異できる。</sup>	<b>達目標(授業目</b> 標		<b>込まれた</b>						
① 真核 ② エヒ	<b>亥細胞のゲノム</b> ごジェネティク	の構造と機能に	こついて理だ	到)	<b>達目標(授業目</b> 標		<b>していまれた</b>						
① 真核 ② エヒ	<b>亥細胞のゲノム</b> ごジェネティク	の構造と機能 <i>に</i> スの破綻とヒ	こついて理だ	到; <sup>異できる。</sup>	<b>達目標(授業目</b> 標		<b>丛まれた</b>	2 E T					
① 真核 ② エヒ	<b>亥細胞のゲノム</b> ごジェネティク	の構造と機能 <i>に</i> スの破綻とヒ	こついて理だ	到; <sup>異できる。</sup>	<b>達目標(授業目</b> 標		込まれた	280					
① 真核 ② エヒ	<b>亥細胞のゲノム</b> ごジェネティク	の構造と機能 <i>に</i> スの破綻とヒ	こついて理だ	到; <sup>異できる。</sup>	<b>達目標(授業目</b> 標		込まれた	2 E T					
① 真核 ② エヒ	亥細胞のゲノム ごジェネティク ♪離について理	の構造と機能 <i>に</i> スの破綻とヒ	こついて理だ	到; <b>弾できる。</b> つりについて説明でき	<b>達目標(授業目</b> 標	Ī)	込まれた	250					
① 真核 ② エヒ ③ 相分	亥細胞のゲノム ごジェネティク }離について理	の構造と機能 <i>に</i> スの破綻とヒ	こついて理 ト疾患の関 <sup>2</sup> きる。	到) <b>柔できる。</b> つりについて説明でき 授業計	達目標(授業目標 える。	Ī)	込まれた	260					
① 真相 ② エヒ ③ 相分	を細胞のゲノム ごジェネティク 分離について理 真核生物の	の構造と機能にスの破綻とヒ 解し、説明でき	こついて理()ト疾患の関ださる。	到) <b>柔できる。</b> つりについて説明でき 授業計	達目標(授業目標 える。 画(項目・内容・	Ī)	込まれた						
① 真核 ② エヒ ③ 相分 回 1回	を細胞のゲノム ごジェネティク 計離について理 は 真核生物の 真核細胞の 事は細胞の	の構造と機能! スの破綻とヒ 解し、説明でき かゲノム構造に のゲノム機能の	こついて理! ト疾患の関 きる。 ついて講 発現に重要	到 な役割を担う核膜に 到 対 できる。 つりについて説明でき 授業計 する	達目標(授業目標 さる。 画(項目・内容・ ついて講義する	Ī)	込まれた	260					

5回	エピジェオ	ネティクス各論	計(2) ヒフ	ストンバリア:	ントとエ	ピジェネテ	イィクスに	ついて	講義する			
6回	エピジェネティクス各論 (3) DNAのメチル化について講義する											
7回	エビジェネティクス各論 (4)RNAによる遺伝子発現制御機構について講義する											
80	X染色体の不活性化について講義する											
9回	エビジェネティクスの異常と疾患について講義する											
10回	エピジェネティクスと老化の進行について講義する											
11回	「液-液相分離」について講義する											
12回	核内の相分離 (1)、DNA・RNAの相分離、クロマチン構造と液-液相分離について講義する											
13回	核内の相分離 (2)、核マトリクスと液-液相分離について講義する											
14回	生化学反応と液-液相分離について講義する											
15回	エピジェネティクスと液-液相分離のまとめ											
16回												
17回												
18回												
19回	90											
20回												
21回												
22回												
23回												
24回												
25回												
26回												
27回												
28回												
29回												_
30回												
						成績評価方						
試験(259	%)、授業	時のレポート	(5% x 15	回)、トータ	マル60点り	以上を合格と	とする。					
教科		•								の全貌(白木賢	太郎、東	፤京化学同人) 
参考図 	青寺   リ	ォート基礎生化	C字、分·							を配布する		
授業時間外の学習について (授業準備のための指示) 毎授業、教科書の指定箇所を予習し、レポートを提出した上で上授業に臨むこと。												
関連科目												
前科目												
後科目 M3	307 分子細	胞生物学演習					1+L =					
						実務家	《教員			1		
備考												